

ABI・PWV(脈波伝播速度)		S108		
		担当部署		
ABI		生理		
検査オーダー				
患者同意に関する要求事項		該当なし		
オーダーリング手順	1	電子カルテ→指示①→生理→ABI・PWV(脈波伝播速度)→ABI・PWV(脈波伝播速度)		
	2			
	3			
	4			
	5			
検査に影響する臨床情報		ABI 高値の頻度が高い：高齢者、透析患者、糖尿病患者、大動脈弁閉鎖不全、腎不全 ABI 低値の頻度が高い：動脈がしなやかな若年者 * baPWV は腸骨動脈、大動脈に著しい狭窄がある場合低下傾向を示す		
検査受付時間		8：45～17：30		
検体採取・搬送・保存				
患者の事前準備事項		1) 検査直前の激しい運動は避ける。 2) 四肢を露出してもらい安静仰臥位で検査を行う。		
検体採取の特別なタイミング		特記事項なし		
検体の種類	採取管名	内容物	採取量	単位
1	人体(四肢)	特記事項なし	特記事項なし	特記事項なし
2				
3				
4				
5				
6				
7				
8				
検体搬送条件		ベッド可能		
検体受入不可基準		1) シャントを構築した四肢(両腕共に血圧測定できない場合) * ABI は左右の上腕収縮期血圧の高い側を基準に算出している。ただし、維持透者のシ		

	ヤント側が血圧測定できないように、何らかの理由で片腕しか測定できない場合は無条件でその血圧が基準になる。 2) 持続点滴中の点滴針留置側は測定できない。 3) 透析後は 2 時間の間隔を空けてから測定する。 4) ポータブル不可。 5)検査に同意を得られない患者					
保管検体の保存期間	特記事項なし					
検査結果・報告						
検査室の所在地	病院棟 3 階 中央検査部					
測定時間	30 分					
生物学的基準範囲	ABI > 0.9 正常値 ABI < 0.9 動脈閉塞の疑いがある。 ABI < 0.8 動脈閉塞の可能性が高い。 0.5 < ABI < 0.8 動脈閉塞が 1 箇所はある。 ABI < 0.5 動脈閉塞が複数箇所はある。					
臨床判断値	該当なし					
基準値					単位	特記事項なし
共通低値	共通高値	男性低値	男性高値	女性低値	女性高値	
特記事項なし	特記事項なし	特記事項なし	特記事項なし	特記事項なし	特記事項なし	
パニック値	高値	該当なし				
	低値	該当なし				
生理的変動要因	該当なし					
臨床的意義	ABI 検査と PWV 検査は、手と足の血圧の比較や脈波の伝わり方を調べ、動脈硬化(血管の老化など)の程度や早期血管障害を検出する。					